

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	Java III	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	6 単位	
学 年	2年次	時間数	120 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Javaのサーバーサイドプログラミングについて学びます。 JSP & サーブレットの仕組みを理解し、環境を構築し、実際にWebシステムの開発作業を通して、実践に近いシステム作りのノウハウを学習します。			
到達目標	Servlet と JSP を利用したサーバ側のアプリケーション開発ができる。 Tomcat の仕組みを理解し、アプリケーションをデプロイすることができる。 eclipse を活用したWebアプリケーションの開発ができる。 データベースにアクセスすることができる。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP新版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内 容		
	1	サーブレットとJSPの基本概念		
	2	サーブレットの作成手順		
	3	サーブレットの作成手順		
	4	web.xml と 文字のエンコーディング		
	5	フィルターの実装方法		
	6	HTTPプロトコルのGET及びPOST処理		
	7	アノテーションの利用とHEADER情報の取得		
	8	JSPの実装方法		
	9	JSPの実装方法		
	10	サーブレットとJSPの連動		
	11	サーブレットとJSPの連動		
	12	Eclipseによる開発		
	13	Webアプリケーションの状態管理		
	14	EL式とカスタムタグ		
15	データベースの操作演習			
授業の進め方・履修の心構え	Java言語を利用したWebアプリケーション開発の技能を身に付けることを前提とします。Tomcatを使用し、実際に演習しながらWebアプリケーション開発の基礎知識を学んでいきます。			
目標資格	基本情報技術者試験 (プログラム言語分野) Javaプログラミング能力認定試験2級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (2) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ネットワーク基礎	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ネットワークに関する基礎知識から始め、組織の規模等に応じた適切なネットワーク構成や、機器配置について、セキュリティ面を意識しながら学習していきます。また、ネットワークを学習するうえで必要不可欠なサーバについても、「サーバ基礎」で学習する前段階としての必要な知識を併せて学びます。			
到達目標	ネットワークについての基礎知識の習得、サーバやセキュリティとの関わりの理解			
教科書・教材	おうちで学べるネットワークのきほん/㈱翔泳社			
授業計画	回	内 容		
	1	ネットワークの基礎		
	2	ネットワークの基礎		
	3	自宅や会社のネットワーク		
	4	ネットワーク構成について		
	5	ネットワーク構成について		
	6	IPアドレスについて		
	7	IPアドレスについて		
	8	DNSについて		
	9	DNSについて		
	10	TCP/UDPについて		
	11	TCP/UDPについて		
	12	スイッチ・ルータについて		
	13	ネットワークセキュリティについて		
	14	ネットワークセキュリティについて		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	SQL演習 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	SQL文だけではなく、実際にある身近なものをデータベース化するための設計手法を学び、上流工程であるデータベース設計を習得します。			
到達目標	SQLについては、DB環境でのコマンドタイピングではなくプログラムからの制御方法を身に付け、データベース設計のテーブル仕様書が作れることを目標とします。			
教科書・教材	データベースとSQL/ (株)インフォテック・サーブ			
授業計画	回	内 容		
	1	MySQL環境確認		
	2	SQL文基礎確認①		
	3	SQL文基礎確認②		
	4	SQL文基礎確認③		
	5	テーブル設計手法①		
	6	テーブル設計手法②		
	7	テーブル設計手法③		
	8	E-R図作成手法①		
	9	E-R図作成手法②		
	10	テーブル設計総合演習①		
	11	テーブル設計総合演習②		
	12	テーブル設計総合演習③		
	13	テーブル設計総合演習④		
	14	設計説明会①		
15	設計説明会②			
授業の進め方・履修の心構え	教科書とオリジナルテキストで進めていきますが、合間で基本情報技術者試験午後問題を抜粋して設計に関わる問題を解いてもらいます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 成果物の完成状況			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	3Dグラフィック	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	無	
授業・科目情報				
学習目的	Blenderを使用した3Dモデル制作を学習します。まずは基礎的な内容から始め、レンダリングやアニメーション等の3Dモデリングには欠かせない技術を学習します。			
到達目標	基本的な3D技術の理解及び習得を目標とする。			
教科書・教材	Blender2.8 3DCGスーパーテクニク/㈱ソーテック社			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス・Blenderの基本操作		
	2	制作工程とモデリング		
	3	モデリング		
	4	モデリング		
	5	モデリング・マテリアル		
	6	テクスチャ		
	7	レンダリング		
	8	キャラクター・セットアップ		
	9	アニメーション		
	10	アニメーション		
	11	復習と自由制作準備		
	12	自由制作		
	13	自由制作		
	14	自由制作		
15	制作物発表および評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、問題解答と演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	CSS・WebSite構築	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	前期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の實務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	スマートデバイスが普及しWebの利用形態も多様化しています。様々なデバイスに対応可能なWebデザイン手法について、実践を通して学びます。			
到達目標	ゼロから自分でデザインしWebサイトを構築できる			
教科書・教材	Adobe XDではじめるWebデザイン&プロトタイピング 一歩先行く現場のスキル/翔泳社			
授業計画	回	内 容		
	1	Webデザインのための環境構築		
	2	ワイヤーフレーム作成方法		
	3	既存のサイトからワイヤーフレーム作成		
	4	ワイヤーフレームからWebレイアウト作成演習		
	5	ワイヤーフレームからWebレイアウト作成演習		
	6	デザインカンパ作成方法		
	7	作成したワイヤーフレームからデザインカンパ作成		
	8	作成したワイヤーフレームからデザインカンパ作成		
	9	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	10	デザインカンパからWebサイト作成演習		
	11	オリジナルWebページ構築～企画・ワイヤーフレーム作成		
	12	オリジナルWebページ構築～ワイヤーフレーム作成・カンパデザイン作成		
	13	オリジナルWebページ構築～カンパデザイン作成		
	14	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング		
15	オリジナルWebページ構築～カンパデザインを元にコーディング			
授業の進め方・履修の心構え	adobeXDの使い方を学び、ゼロからデザインを作成しそこからWEBサイト作成することができるようになっています。コーディングを正確に行えるようにします。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	Word演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	Wordの基礎となる設定を理解し、ビジネス文書や見栄えのする文書を作成・編集するための高度な技術を学習していきます。さらにもう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	高度な編集技術を身に付け、文書処理技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Wordマスター演習問題集／ムゲンダイ出版 2019対応Word文書処理技能認定試験1・2級問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	入力練習と文書編集		
	2	段落書式		
	3	表の挿入と編集		
	4	差し込み印刷		
	5	ヘッダー・フッター		
	6	スタイル		
	7	グラフィックスの挿入		
	8	相互参照・目次・索引		
	9	変更履歴とコメント		
	10	検定試験対策 1 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	11	検定試験対策 2 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	12	検定試験対策 3 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	13	検定試験対策 4 (知識・実技問題の実施及び解説)		
	14	検定試験対策 5 (知識・実技問題の実施及び解説)		
15	検定試験対策 6 (知識・実技問題の実施及び解説)			
授業の進め方・履修の心構え	演習問題を解きながらWordを使いこなす応用力や考える力を養います。 1級取得を目指してほしいです。			
目標資格	Word文書処理技能認定試験 2 級以上			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	プレゼンテーション I	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目では、PowerPointの基礎的な使用方法、活用方法を学習します。また実践（準備・発表・評価）を通して、コミュニケーション能力および自己表現能力を高め、就職試験や面接に向けた対策を行います。</p>			
到達目標	<p>就職活動開始時に自己紹介と自己アピールができる</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介・科目説明		
	2	プレゼンテーションの定義・目的		
	3	プレゼンテーションの基本的な作り方		
	4	伝わる資料とは		
	5	資料が見やすくなるデザインの基本～文字・文章・配置①～		
	6	資料が見やすくなるデザインの基本～文字・文章・配置②～		
	7	資料が見やすくなるデザインの基本～色・強調～		
	8	表現のテクニック～文章・グラフ～		
	9	表現のテクニック～作図～		
	10	わかりやすい話の構成の仕方		
	11	話し方の基本		
	12	伝わる話し方とは		
	13	視線・ボディコントロールについて		
	14	実戦課題①		
15	実戦課題②			
授業の進め方・履修の心構え	<p>プレゼンテーションをすることの目的を理解し、相手に伝えるとはどういうことかを考えることが重要です。</p>			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) プレゼンによる評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A： 89～80点 B： 79～60点</p>		<p>C：59～50点 D： 49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	就職支援	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	4 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職準備のための授業です。本科目の中で自分の理想とする職業像をイメージし、就職活動に必須の準備を終了させます。自己分析・企業研究から始まる履歴書完成、エントリーシート準備、面接試験対策など具体的に作業していきます。机上の作業だけではなく、足・目・頭など体を十分に動かして準備していきましょう。			
到達目標	内定取得及び社会人としての基礎を身に付ける			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	送付状の用意、封筒表書き練習、封入方法		
	2	面接練習（個人、一次面接）		
	3	面接練習（個人、二次以降の面接）		
	4	面接練習（集団、オンライン）		
	5	送付状への追加、会社封筒の記入方法、簡易書留		
	6	現状分析		
	7	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	8	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	9	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	10	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	11	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	12	内定取得者：目標設定と計画／内定未取得者：応募書類の用意と就職試験準備		
	13	暑中見舞いの書き方		
	14	就職活動を振り返り作文作成		
15	今後のスケジュール作成			
授業の進め方・履修の心構え	いよいよ就職活動の本番がスタートです。自身でスケジュールを立て、計画的に進めましょう。応募書類作成や面接練習は早に準備するよう心掛けましょう。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 就職活動の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	一般教養 II	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目では、主に就職試験対策を行います。筆記試験、適性検査に出題されやすい一般常識問題や、漢字書き取り、計算問題、SPI問題について学習します。			
到達目標	就職試験において、筆記試験50点（半分）以上を取得できる。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	分数と漢字の書き取り		
	2	分数と漢字の書き取り		
	3	割り算と日本語（文章の作り方）		
	4	割り算と日本語（表現方法）		
	5	割り算と漢字の書き取り		
	6	SPI（数列、確率）と漢字の書き取り		
	7	SPI（組み合わせ、流水算）と漢字の書き取り		
	8	SPI（基数変換）と漢字の書き取り		
	9	脳トレイ（四角に分ける、推測）と漢字の書き取り		
	10	脳トレイ（ナンプレ、道を作る）と漢字の書き取り		
	11	SPI（魔法陣、多角形）と漢字の書き取り		
	12	SPI（推理、論理）と漢字の書き取り		
	13	脳トレイ（数当て、数字ブロック）と漢字の書き取り		
	14	SPI（塩分計算、速度計算）と漢字の書き取り		
15	総合テスト			
授業の進め方・履修の心構え	「一般教養 I」を履修したことが条件となります。より実戦向きの学習のため、課題はもちろん自身の積極性がより求められます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	国家試験対策 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	前 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	「国家試験対策 I」に引き続き、国家試験の過去問を用いた問題演習および解説を通して、試験問題に慣れ、その解き方を身に付けていきます。特に基本情報技術者試験の修了認定試験合格者向けに午後問題の演習を中心に行います。			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	2	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	3	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午後問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	5	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	「国家試験対策 I」を履修したことが条件になります。午前問題よりさらに専門的な知識を求められるので、今まで学習した基礎知識の復習が大切になります。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	コミュニケーションⅡ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	就職試験対策講座であるとともに、システムや作品を上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。社会人として円滑な対応をするための敬語の使い方、挨拶の仕方なども学びます			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	きれいな発声・発音を身につけよう		
	2	正しい日本語を身につけよう		
	3	話すときの心構えを理解しよう①		
	4	話すときの心構えを理解しよう②		
	5	効果的な表現力を身につけよう		
	6	効果的な話し方を身につけよう①		
	7	効果的な話し方を身につけよう②		
	8	ワークショップで学ぶためのルール		
	9	コミュニケーションの基礎知識 (組織・団体) ①		
	10	コミュニケーションの基礎知識 (組織・団体) ②		
	11	ビジネスコミュニケーションの技術①		
	12	ビジネスコミュニケーションの技術②		
	13	ビジネスコミュニケーションの技術③		
	14	総合演習①		
15	総合演習②			
授業の進め方・履修の心構え	日常で当たり前に行っている会話の「話す」「聞く」の基本を学びます。言葉の力や伝える力を学ぶので楽しく参加してください。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	グループワークⅢ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	全学科、全学年を在校生全員を対象して開講。システムや作品を作り上げるために必要な他者との意思疎通・意見交換などをスムーズに行うための訓練を行います。			
到達目標	簡単なグループワークを通して相手に自分の気持ちや考えを伝える力を身につけていきます。			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	自己紹介		
	2	グループワーク①		
	3	グループワーク①		
	4	プレゼンテーション		
	5	グループワーク②		
	6	グループワーク②		
	7	グループワーク②		
	8	プレゼンテーション		
	9	グループワーク③		
	10	グループワーク③		
	11	プレゼンテーション		
	12	グループワーク④		
	13	グループワーク④		
	14	グループワーク④		
15	プレゼンテーション			
授業の進め方・履修の心構え	他学年との交流を行い、チームの在り方を学ぶ。最低限の礼儀を守りつつ年齢性別を越えて意見交換をしてもらいたい。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) グループワーク、プレゼンによる評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	JSP・Servlet演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	JSPおよびサーブレットを利用し、Webアプリケーションの仕組みを学びます。アプリケーションサーバーには、入手しやすくインストールも簡便なApache Tomcatを使用します。独自で簡単なアプリケーションを開発します。			
到達目標	与えられた課題について、設計、プログラミング、テストの全ての開発工程を実施することによって、システム構築の手順を把握します。プログラミングだけではなく、システム開発の上流工程から参画できるようにし、就職後、即戦力になるような基礎能力を身に付けることを目標とします。			
教科書・教材	基礎からのサーブレットJSP新版/SBクリエイティブ(株)			
授業計画	回	内容		
	1	システム開発手法の概要		
	2	基本設計の演習		
	3	画面設計の演習		
	4	画面設計の演習		
	5	データベース設計の演習		
	6	レビューの実施		
	7	プログラミング		
	8	プログラミング		
	9	プログラミング		
	10	プログラミング		
	11	単体テストの実施		
	12	単体テストの実施		
	13	結合テストの実施		
	14	成果物のまとめ		
15	プレゼンの実施			
授業の進め方・履修の心構え	独自でプロジェクトの設計から開発及びテストまでの一連の開発工程をこなす技能を身に付けることを前提とします。前期で学んだJSPおよびサーブレットの基礎知識を応用し、実際に簡単なプロジェクトを開発していきます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	総合制作	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	8 単位	
学 年	2年次	時間数	240 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	必 修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、これまでに学んだことの集大成です。プロジェクトを立ち上げてシステム開発に取り組みます。チームメンバーとコミュニケーションをはかり、協力してシステムを完成させます。			
到達目標	本学でこれまで履修した科目で学んだ知識・技術を活かし、チームで成果物を完成させる。			
教科書・教材	特になし			
授業計画	回	内 容		
	1	ガイダンス・プロジェクトの概要説明・制作物の決定		
	2	制作 (要件定義書作成)		
	3	制作 (仕様書作成)		
	4	制作 (仕様書作成)		
	5	制作 (仕様書作成)		
	6	制作 (仕様書作成)		
	7	制作 (コーディング)		
	8	制作 (コーディング)		
	9	制作 (コーディング)		
	10	制作 (コーディング)		
	11	制作 (単体テスト)		
	12	制作 (単体テスト)		
	13	制作 (結合テスト)		
	14	制作 (結合テスト)		
15	制作発表準備・制作発表			
授業の進め方・履修の心構え	毎回の始まりと終わりにチームミーティングを行います。 チーム制作の為、報告・連絡・相談を意識して制作に努める必要があります。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 制作物および制作発表による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	サーバ基礎	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	1 単位	
学 年	2年次	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	サーバに関する基礎知識から始め、ネットワークやセキュリティとの関わり、サーバの種類や役割について学んでいきます。実機を用いた学習により、クライアントとサーバとの違いや設定方法について理解を深めます。			
到達目標	サーバについての基礎知識の習得、ネットワークやセキュリティとの関わり方の理解			
教科書・教材	おうちで学べるサーバのきほん／(株)翔泳社			
授業計画	回	内 容		
	1	サーバー基礎		
	2	サーバー基礎		
	3	様々なサーバの役割について		
	4	様々なサーバの役割について		
	5	コンピュータのハードウェアについて		
	6	コンピュータのハードウェアについて		
	7	コンピュータのハードウェアについて		
	8	OSとサービスプログラム		
	9	サーバーとネットワークの関係		
	10	サーバーとネットワークの関係		
	11	サーバ管理とセキュリティ		
	12	サーバ管理とセキュリティ		
	13	サーバの保守・運用について		
	14	サーバの保守・運用について		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	教科書やスライドをもとに解説をし、適宜パソコンを使用して演習を行います。成果物については必要に応じて提出してもらいます。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ゲーム制作II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	演習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	ゲーム制作Iで身につけた基礎知識と技術を用い、3Dゲーム制作の手法を学習します。制作を行う上で必要な技術の向上とより幅広い知識の定着を図ることによって、ゲーム制作IIIと総合制作で役立つベースを築くことを目的とします。			
到達目標	・基本的な3Dゲーム制作技術の理解及び習得を目標とする。			
教科書・教材	楽しく学ぶ Unity 3D超入門講座／(株)マイナビ出版			
授業計画	回	内容		
	1	ガイダンス・3D空間		
	2	スクリプト		
	3	衝突		
	4	ジャンプとプレイヤー視点		
	5	シーンの切り替え・プレハブ		
	6	ナビメッシュ		
	7	アニメーション		
	8	ムービー		
	9	小テスト・復習とオリジナルゲーム課題制作準備		
	10	オリジナルゲーム課題制作		
	11	オリジナルゲーム課題制作		
	12	オリジナルゲーム課題制作		
	13	オリジナルゲーム課題制作		
	14	オリジナルゲーム課題制作		
15	制作発表及び評価			
授業の進め方・履修の心構え	講師による説明後、演習を行います。 基礎技術定着の為に十分な復習を行うことを期待します。			
目標資格	特になし			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 小テスト (2) 課題の提出状況および完成度 (3) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	HTML応用 I	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	実 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	webサイトにおいて動きのあるサイトを作成する方法を学びます。 そのために必要なJavaScriptの基礎知識とjQuery、CSSを学びます。			
到達目標	WEBサイトに様々な動きやデザインを組み込むことができるようになり、それを活用してサイトを構築する。			
教科書・教材	確かな力が身につくJavaScript「超」入門 第2版/SBクリエイティブ			
授業計画	回	内 容		
	1	JavaScriptの環境構築と基本文法		
	2	JavaScriptの基本文法		
	3	JavaScriptのイベントとオブジェクト		
	4	JavaScriptで画像操作やスライドショー		
	5	jQueryについて/ナビゲーションメニューやアニメーション		
	6	jQuery演習①/実装したい動きをjQueryで表現		
	7	jQuery演習②/実装したい動きをjQueryで表現		
	8	jQuery演習③/実装したい動きをjQueryで表現		
	9	オリジナル作品制作①/企画・構成		
	10	オリジナル作品制作②/デザインキャンブ		
	11	オリジナル作品制作③/サイト制作		
	12	オリジナル作品制作④/サイト制作		
	13	オリジナル作品制作⑤/サイト制作		
	14	オリジナル作品制作⑥/サイト制作		
15	オリジナル作品制作⑦/サイト制作・提出・品評			
授業の進め方・履修の心構え	最初は教科書に沿って基礎的なことを学び、演習で自分で調べて実装する力を身に着ける。学んだことを生かしてオリジナルページを0から作成する。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) オリジナル制作物による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準S~Cは合格、Dは不合格	

開講年度	2022年度	科目名	Access演習	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	3 単位	
学 年	2年次	時間数	60 時間	
開講学期	後 期	授業形態	演 習	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	データベースの基本から「テーブル」「クエリ」「フォーム」「レポート」といった主要機能、関数やマクロまでを、データベースの活用事例を通じて、実務レベルにおけるAccessの利用方法・操作技法を習得します。さらに、もう一つの目標である認定試験合格のためのテクニックを学習します。			
到達目標	Accessの基礎から応用まで幅広く知識を身に付け、ビジネスデータベース技能認定試験に合格する。			
教科書・教材	Access 2019 テキスト基礎編／ムゲンダイ出版 2019対応Accessビジネスデータベース技能認定試験問題集／サーティファイ			
授業計画	回	内 容		
	1	Accessの基礎		
	2	テーブル作成と編集		
	3	フォーム作成と編集		
	4	クエリ 1		
	5	クエリ 2		
	6	クエリ 3		
	7	クエリ 4		
	8	リレーションシップ		
	9	レポート作成と編集		
	10	サブフォームとサブレポート		
	11	マクロ		
	12	検定試験対策 1		
	13	検定試験対策 2		
	14	検定試験対策 3		
15	検定試験対策 4			
授業の進め方・履修の心構え	教科書に沿って学習します。適宜補助プリントも使用します。 学習内容が多く進み方も早いです。欠席しないようにしてください。			
目標資格	Accessビジネスデータベース技能認定試験 2 級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 検定試験の結果による評価			
評価基準	S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点		C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	プレゼンテーションⅡ	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	60時間	
開講学期	後期	授業形態	実習	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目では、「プレゼンテーションⅠ」で学んだ内容を基に、プレゼンテーションの本質を学んでいきます。</p> <p>プレゼンテーションの本質を学び、仕事・日常生活における人を動かす術を学びます。</p>			
到達目標	総合制作発表で行うプレゼンテーションの資料作成と発表準備を行う。			
教科書・教材	いちばんやさしい資料作成&プレゼンの教本 人気講師が教える「人の心をつかむプレゼン」のすべて/インプレス PowerPoint			
授業計画	回	内容		
	1	科目説明、プレゼン力演習1		
	2	プレゼン力演習2		
	3	プレゼンテーションの本質を		
	4	人を動かすプレゼンテーション1		
	5	人を動かすプレゼンテーション2		
	6	実践演習1		
	7	実践演習2		
	8	プレゼンテーション資料作成 前編		
	9	プレゼンテーション資料作成 後編		
	10	実践演習3		
	11	実践演習4		
	12	練習で自信をつける		
	13	総合演習1		
	14	総合演習2		
15	総合演習3			
授業の進め方・履修の心構え	「プレゼンテーションⅠ」を履修したことが条件になります。ディベートを通して自身の意見を発信し、協調性を高めることが重要です。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 課題の提出状況及び完成度</p> <p>(2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p> <p>(3) 総合制作発表におけるプレゼンテーションでの評価</p>			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	ビジネスマナーⅡ	
科目基本情報				
学科区分	インフォメーションテクノロジー学科	単位数	2単位	
学年	2年次	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	必修	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	社会人として働くうえで、多種多様なビジネスシーンにおける様々なビジネスマナーが存在します。本科目では、社会人としてより早く自立し、円滑に仕事ができるよう知識・スキルを学びます。			
到達目標	卒業後に社会人として、自信をもって行動できる基礎を身に付ける。			
教科書・教材	入社1年目ビジネスマナーの教科書／プレジデント社			
授業計画	回	内 容		
	1	第2章 社内のビジネスマナーとルール1～効率的な仕事の進め方、時間について		
	2	第2章 社内のビジネスマナーとルール2～機材や文房具の使い方		
	3	第2章 社内のビジネスマナーとルール3～一日の時間の使い方、人間関係		
	4	第6章 報告・連絡・相談の基本		
	5	第6章 報告・連絡・相談 実践演習		
	6	第7章 来客対応の基本		
	7	第8章 他社訪問の基本		
	8	第11章 会食の基本～洋食とコミュニケーションの取り方		
	9	第11章 会食の基本～和食とコミュニケーションの取り方		
	10	第11章 会食の基本～立食とコミュニケーションの取り方		
	11	第12章 基本的な慶弔マナー1		
	12	第12章 基本的な慶弔マナー2		
	13	新入社員に割り振られる仕事 実践演習1		
	14	新入社員に割り振られる仕事 実践演習2		
15	新入社員に割り振られる仕事 実践演習3			
授業の進め方・履修の心構え	毎週10分間ずつ作業日報を記録する。 毎週小テストを実施する。			
目標資格				
試験の実施方法	単位認定試験の有無	有	試験形式	文書試験
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 課題の提出状況および完成度 (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価 (3) 単位認定試験の点数			
評価基準	S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点		C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~Cは合格、Dは不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座Ⅰ	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	前期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	基本情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構基本情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	基本情報技術者試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (ハードウェア)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (情報処理システム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (ソフトウェア)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (データベース)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	7	午前問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略)		
	8	午前問題の内容理解と練習 (データ構造とアルゴリズム)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (データ構造及びアルゴリズム)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (ソフトウェア開発)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	午前免除保持者は午後問題を、未保持者は午前・午後両方に取り組みます。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	基本情報技術者試験			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	応用情報技術者受験対策講座 II	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、情報処理推進機構応用情報技術者試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。午前試験及び、午後試験の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	<p>応用情報技術者試験合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	午前問題の内容理解と練習 (基礎理論)		
	2	午前問題の内容理解と練習 (コンピュータシステム)		
	3	午前問題の内容理解と練習 (技術要素・開発技術)		
	4	午前問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	5	午前問題の内容理解と練習 (システム戦略・経営戦略)		
	6	午前問題の内容理解と練習 (企業と法務)		
	7	午後問題の内容理解と練習 (情報セキュリティ)		
	8	午後問題の内容理解と練習 (経営戦略・情報戦略・コンサルティング)		
	9	午後問題の内容理解と練習 (プログラミング・アルゴリズム)		
	10	午後問題の内容理解と練習 (ネットワーク)		
	11	午後問題の内容理解と練習 (データベース)		
	12	午後問題の内容理解と練習 (システム開発)		
	13	午後問題の内容理解と練習 (マネジメント)		
	14	午後問題の内容理解と練習 (システム監査)		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>応用情報技術者試験</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	Javaプログラミング受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2単位	
学年	全学年共通	時間数	30時間	
開講学期	後期	授業形態	講義	
履修区分	選択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、サーティファイ主催Javaプログラミング能力認定試験の合格に向け、出題範囲や問題の内容理解を目的とし講義を通して対策を行います。各級位の出題分野ごとの出題範囲から、問題の難易度や出題傾向を把握するとともに、自身の得意分野、苦手分野の把握と対策を行うことで、より効果的に学習を進めます。</p>			
到達目標	Javaプログラミング能力認定試験合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内容		
	1	問題の内容理解と練習 (式と演算子)		
	2	問題の内容理解と練習 (条件分岐)		
	3	問題の内容理解と練習 (繰り返し)		
	4	問題の内容理解と練習 (配列)		
	5	問題の内容理解と練習 (メソッド)		
	6	問題の内容理解と練習 (クラスとインスタンス)		
	7	問題の内容理解と練習 (継承)		
	8	問題の内容理解と練習 (インターフェース)		
	9	問題の内容理解と練習 (多様性)		
	10	問題の内容理解と練習 (カプセル化)		
	11	問題の内容理解と練習 (クラスライブラリ)		
	12	問題の内容理解と練習 (例外)		
	13	問題の内容理解と練習 (スレッド)		
	14	問題の内容理解と練習 (GUI)		
	15	総まとめ		
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。分からない問題は自分で実際にプログラミングし、実行結果を確認して理解を深めましょう。</p>			
目標資格	Javaプログラミング能力認定試験1～3級			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S : 100～90点 A : 89～80点 B : 79～60点</p>		<p>C : 59～50点 D : 49点以下 ※評価基準 S～Cは合格、Dは不合格</p>	

開講年度	2022年度	科目名	MCP受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	<p>本科目は、マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。グレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。</p>			
到達目標	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）合格レベル</p>			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	2	問題の内容理解と練習（モビリティ）		
	3	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	4	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	5	問題の内容理解と練習（クラウド）		
	6	問題の内容理解と練習（データ）		
	7	問題の内容理解と練習（データ）		
	8	問題の内容理解と練習（データ）		
	9	問題の内容理解と練習（データ）		
	10	問題の内容理解と練習（生産性）		
	11	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	12	問題の内容理解と練習（App Builder）		
	13	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
	14	問題の内容理解と練習（ビジネスアプリケーション）		
15	総まとめ			
授業の進め方・履修の心構え	<p>出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。</p>			
目標資格	<p>マイクロソフト認定資格プログラム（MCP：Microsoft Certification Program）</p>			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	—
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	<p>(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価</p>			
評価基準	<p>S：100～90点 A：89～80点 B：79～60点</p>		<p>C：59～50点 D：49点以下 ※評価基準S～Cは合格、Dは不合格</p>	

授業計画 (シラバス)

札幌情報未来専門学校

開講年度	2022年度	科目名	MOS受験対策講座	
科目基本情報				
学科区分	全学科共通	単位数	2 単位	
学 年	全学年共通	時間数	30 時間	
開講学期	後 期	授業形態	講 義	
履修区分	選 択	教員の実務経験	有	
授業・科目情報				
学習目的	本科目は、マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) の合格を目的とし、出題範囲や問題の内容理解を深め、講義を通して対策を行います。各オフィスソフトでグレードごとに分かれた試験の問題難易度や出題傾向を理解し、講義形式で試験対策を行います。			
到達目標	マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist) 合格レベル			
教科書・教材				
授業計画	回	内 容		
	1	問題の内容理解と練習 (Word)		
	2	問題の内容理解と練習 (Word)		
	3	問題の内容理解と練習 (Word)		
	4	問題の内容理解と練習 (Word)		
	5	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	6	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	7	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	8	問題の内容理解と練習 (Excel)		
	9	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	10	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	11	問題の内容理解と練習 (PowerPoint)		
	12	問題の内容理解と練習 (Access)		
	13	問題の内容理解と練習 (Access)		
	14	問題の内容理解と練習 (Access)		
	15	問題の内容理解と練習 (Access)		
授業の進め方・履修の心構え	出題分野ごとに得点率を把握し、自分の得意、不得意な分野を明確にすることが大切です。制限時間以内に解くことも心掛けましょう。			
目標資格	マイクロソフトオフィススペシャリスト (MOS : Microsoft Office Specialist)			
試験の実施方法	単位認定試験の有無	無	試験形式	-
成績評価方法 ※具体的に記入のこと	(1) 授業中に実施する確認テスト (2) 出席率80%以上および授業の積極性による評価			
評価基準	S : 100~90点 A : 89~80点 B : 79~60点		C : 59~50点 D : 49点以下 ※評価基準 S~C は合格、D は不合格	